



表紙 「心をつなぐ」

書：尾西 正成(京都橘大学 文学部
日本語日本文学科 書道コース 教授)

1970年 京都府出身
1996年 京都教育大学書道科 卒業・同大学院 修了
2003年 京展 中野賞受賞
2005年 京展 京展賞受賞
2008年 第25回 読売大賞受賞(最年少)
2011年 第45回 日展京都展 京都新聞賞受賞
2013年 第47回 日展 特選受賞
2015年 改組第2回新日展 特選受賞

活動歴：

日展準会員、読売書法会常任理事、
日本書芸院常務理事、京都書作家協会常任理事、
書学書道史学会会員
読売書法展、日本書芸院展、アートギャラリー(城陽
市)、京田辺市展などの公募展の審査も担当している。



The 26th Annual Conference of Japanese Association for Research in Family Nursing

日本家族看護学会

第26回学術集会

プログラム・抄録集

心をつなぐ

会期 2019年 9月14日(土)・15日(日)

会場 京都テルサ

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70

学術集会長 河原 宣子 京都橘大学 看護学部

学術集会事務局

京都橘大学 看護学部 野島 敬祐
〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34
TEL : 075-574-4254
E-mail : jarfn26@tachibana-u.ac.jp

第26回学術集会開催にあたって

日本家族看護学会第26回学術集会

会長 河原 宣子

(京都橘大学看護学部)



日本家族看護学会第26回学術集会にご参加の皆様と学術集会の企画・運営を支えていただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

日本家族看護学会は、看護の対象として重視されている家族に対する看護を、家族看護学として発展させていく使命を果たすべく1994年に設立されました。家族は国民の健康を左右するきわめて重要な位置にあることから、健康長寿社会の実現に向けて家族の健康、家族の健康生活に貢献できる学術学会でありたいと日々活動を行っております(日本家族看護学会ホームページより)。

第26回学術集会は、メインテーマを「心をつなぐ」といたしました。

「いっしょに歩む」「バトンをつなぐ(Carry the torch)」といった家族看護実践の醍醐味と家族看護学のさらなる発展を期待する意味を「つなぐ」という言葉に込めました。したがって、プログラムには、これまでに蓄積された家族看護学に関する多様な知見を次代につなぐ、人と人、家族と地域社会をつなぐ、看護職を始め多くの職種が手をつなぎ家族と関わる、そして、多様な学問分野とのつながりを築く、といった内容を盛り込んでいます。ご協力いただいたご登壇者の皆様に深謝申し上げます。

ところで、「つなぐ」という言葉には、「縛る」「つなぎとめる」といった意味もあります。家族であるが故に束縛されたり、目に見えない鎖につながれて負の感情を抱いたり、この家族から逃れたいという人もいます。だからこそ、喜怒哀楽も複雑多岐な関係性もすべてひっくるめて、家族看護という視座から家族によりそい、考究することに意義があると考えます。皆様と共に、議論を深め、日々の教育・研究・実践に役立てていただくことを期待します。

キービジュアルには、心を揺さぶる書字を用いました。文字は世代や民族を超えて心に語りかけるチカラを有しています。気鋭の書家、尾西正成氏の文字が持つ心は、家族看護学研究や日々の家族看護活動を推進する原動力になると信じます。

ご参加の皆様には、9月の京都でのご滞在を存分に楽しんでいただければ幸いです。

最後になりますが、皆様のご多幸とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

学術集会に参加される皆様へのご案内

1. 会期中、参加証（ネームカード）を必ずご着用ください。

2. 会場利用について

- 会場内は全て禁煙となっております。
- 会場内では発表者および参加者の方々のご迷惑にならないよう、携帯電話は電源をお切りになるか、マナーモードへの変更をお願いします。
- 会場内のアナウンスやスライドによる呼び出しは行いません。
- 発表会場内での撮影および録音は原則禁止といたします。

3. 駐車場について

- 会場地下に有料駐車場はございますが、イベント等で駐車できない場合もございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。また駐車料金の割引サービスはございません。

地下駐車場 通常料金（8:00～22:00）最初の30分以内無料、30分超え1時間以内420円、以降30分毎に210円の加算（上限料金1,680円）

4. クロークについて

- 手荷物等のお預かりは、京都テルサ1階東館 第6・7会議室のクロークで行います。
- 貴重品（PCを含む）、壊れやすいもの、生ものはお預かりできませんので、ご了承ください。
- お預かりの時間は、以下の通りです。必ず当日中にお引き取り下さるようお願いいたします。
9月14日（土）9:00～18:30
9月15日（日）8:30～16:30

5. ランチョンセミナーについて

- ランチョンセミナーでは、お弁当が配布されます。
- 9月14日（土）9:00より、15日（日）8:30より、【ランチョンセミナー整理券配布所】（1階西館 ロビー）にて整理券を配布します。整理券がなくなり次第、終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ランチョンセミナー会場への入場は、前セッション終了後となります。セミナー開始後5分経過すると、整理券は無効となります。整理券をお持ちの方は、それまでにご入場ください。

6. ご昼食、休憩について

- 会場内でのお弁当の販売はありません。
- 9月14日（土）の12:00～12:50は第1会場を、9月15日（日）の12:00～12:50は第1会場、第3会場、第4会場を昼食会場として開放する予定です。自由にご利用ください。

7. 懇親会について

- 9月14日(土) 17:00より、京都テルサ1階テルサホール前で「ハッピーアワー！ One Coin 心会」を開催致します。どなたでも参加可能です。参加者の皆様の交流にご活用ください。
- 事前登録の必要はございません。
- ワンドリンク500円です。
- なお、16:00からプレオープンします。

8. 2019年度日本家族看護学会総会について

- 9月14日(土) 13:30より、第1会場にて、2019年度日本家族看護学会総会を開催いたします。会員の方は参加証(ネームカード)をお付けいただき、総会資料を会場入口にてお受け取りの上、会場の前方にご着席ください。
- 会員以外の方で第1会場に入場されている場合は、会場の後方にご着席ください。

9. 学会事務局デスクについて

- 総会案内周辺に【日本家族看護学会事務局デスク】を設置致します。本学会への入会をご希望の方やご興味のある方等は、是非お立ち寄りください。

10. 災害発生時の対応について

- 災害等により学術集会開催の変更がある場合は、学術集会ホームページに緊急掲示を行います。
- 会期中に災害が発生した際は、各会場での避難アナウンスまたは係の誘導に従ってください。

11. その他

- 抄録集は参加費に含まれておりますが、ご希望の方には、【抄録集販売デスク】にて、1冊2,000円で販売しております。
- 会場内にインターネットサービスはございません。
- 忘れ物、落し物については京都テルサ受付でお預かり致します。
- スタッフはスタッフTシャツ(ブルー)を着ております。お困りの際は気軽に声をおかけください。
- 会場内に学会広報や報道関係の写真撮影が入ります。あらかじめご了承ください。

座長・発表者の皆様へ

1. 座長の皆様へ

- セッションの開始30分前までに、京都テルサ 1階西館 玄関ホールの【講師・座長・シンポジスト受付】へお越しください。また、セッション開始10分前までに、各会場内前方にある【次座長席】へお越しください。
- 一般口演発表は1演題10分（発表7分、質疑応答3分）です。時間厳守をお願いいたします。
- 開始時刻になりましたら、すみやかにセッションを開始してください。
- 発表者に欠席が生じた場合も、発表時間の繰り上げは行わず、プログラムは予定通り進行してください。

2. 発表者の皆様へ

1) 利益相反の開示について

発表の際、一般演題・交流集会等、発表者全員の方に利益相反の開示をお願いしております。本学術集会ホームページ、一般演題登録の「利益相反 (Conflict of Interest : COI) の開示について」の開示すべき事項と基準を確認してください。口演の場合は演題名・研究者氏名の次のページ(パワーポイントファイル)に、示説の場合はポスターの最後に、記載例を参考に掲載してください。記載例は本学術集会ホームページ「一般演題登録」の「利益相反 (Conflict of Interest : COI) の開示について」をご覧ください。様式をダウンロードすることができます。

2) 一般演題(口演)発表者の皆様へ

- 発表データは、USB メモリでお持ち込みください。それ以外のメディアや PC 本体の持ち込みは、受付できませんのでご注意ください。
- セッションの開始1時間前までに、京都テルサ1階西館玄関ホールの【PC 受付】にお越しいただき、発表データの受付、試写(動作確認)を行ってください。なお、データのファイル名は『演題番号_演者名』と記して保存ください(例: 111_京都はな子)。※アンダーバーは半角としてください。
- 受付時間は以下に示した通りをお願いいたします。
9月14日(土) 9:00～17:00(9月15日発表のデータも受付可能)
9月15日(日) 8:30～12:00
※9月15日(日)の午前に発表される方は、9月14日(土)の午後には受付されることをお勧めいたします。
- セッションの開始10分前までには、各会場の【次演者席】にご着席ください。
- 発表時間は10分(発表7分、質疑応答3分)です。進行は座長の指示に従ってください。
- 発表は演台上の PC を発表者ご自身で操作してください。

【発表データの作成について】

- 会場で使用するパソコンは Windows OS (Windows10) で、アプリケーションは Windows 版 PowerPoint2016 です。なお、Mac PowerPoint や Keynote には対応しておりません。
- 動画・音声を含むデータの受付は、一般演題ではご遠慮ください。
- 文字化けを防ぐため、フォントは標準のものをご使用ください。
※標準フォント (MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman) 以外のフォントは正確に表示できない場合があります。
- USB メモリはウイルスチェックを済ませてからご持参ください。
- 提出いただいた発表用データは学術集会終了後、事務局にて責任をもって削除いたします。破損等を想定してバックアップデータを保存した USB メモリを持参いただくことをお勧めいたします。なお、PC 受付後のデータ修正はできません。

3) 一般演題 (示説) 発表者の皆様へ

- 示説会場 (京都テルサ東館3階第6会場) 前に示説受付がありますので、自由討論の開始 5 分前までにお越しください。
- ご自分の演題番号が掲示されているパネルに設置された貼付用の画鋏を使用し、所定の掲示時間にポスターを貼付してください。
- 自由討論時間を設けております。指定された時間にポスター前で待機し、参加者と自由に討論してください。
- 自由討論終了後にポスターを撤去してお持ち帰りください。撤去時間を過ぎても貼付してあるポスターは事務局で撤去し処分させていただきます。

4) 交流集会・委員会企画責任者の皆様へ

- 責任者を中心にした自主運営になります。直接、指定の会場にお越しください。
- 会場には、マイク、プロジェクター、スクリーン、ノート PC1 台 (Windows10、アプリケーションは Windows 版 PowerPoint2016) を用意しています。その他必要な資材・機器は各自でご準備ください。
- 発表は演台上の PC を発表者ご自身で操作してください。
- 会場レイアウトの変更はご自身で行っていただき、終了時間までにすみやかに原状復帰してください。
- 当日資料を配布される場合には十分な数をご準備ください。会場にはコピー機はございません。
- 発表データは、USB メモリでお持ち込みください。それ以外のメディアは受付できませんのでご注意ください。

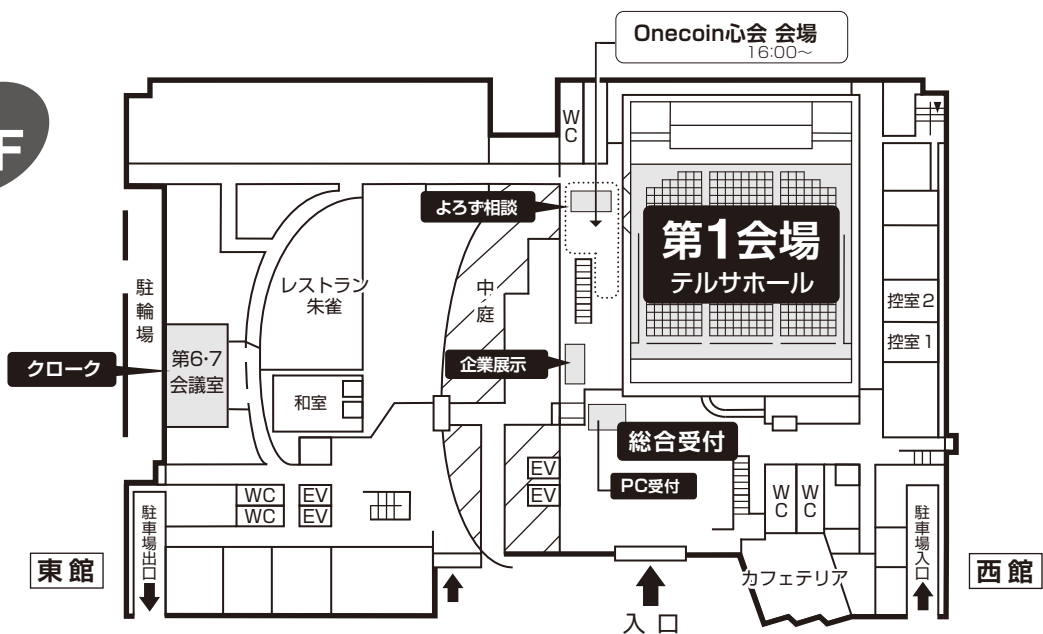
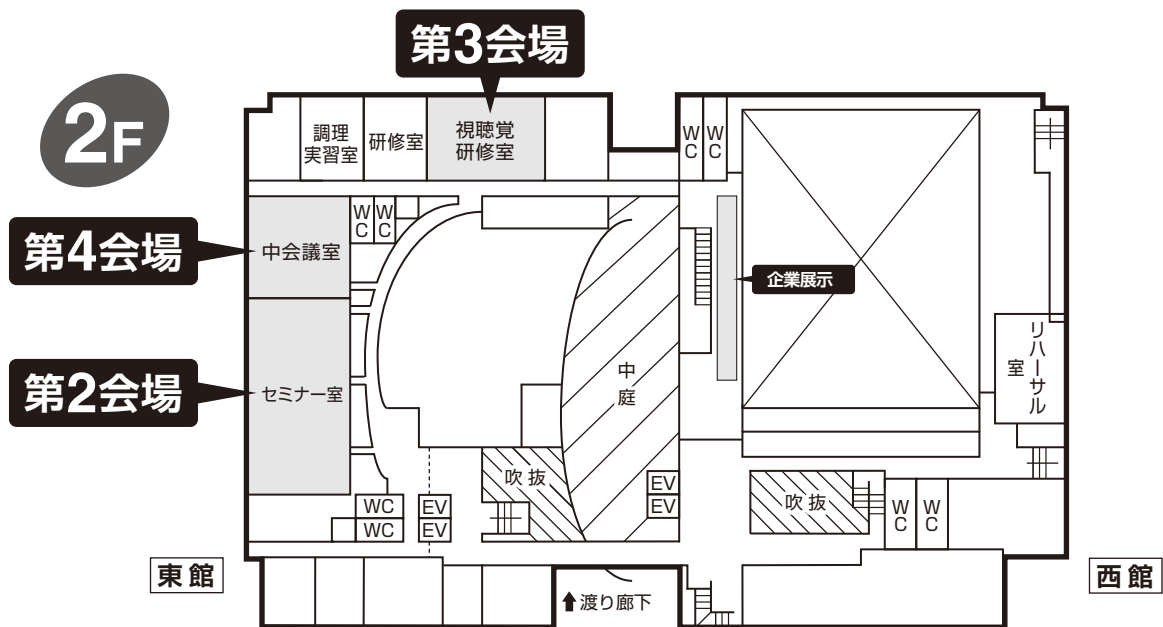
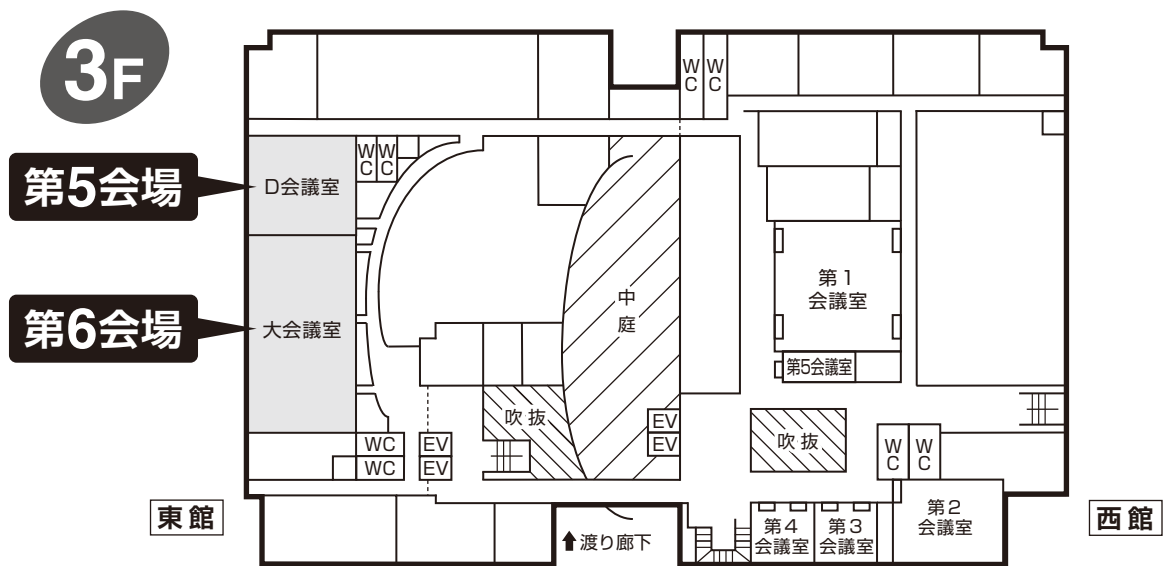
【発表データの作成について】

- 会場で使用するパソコンは Windows OS (Windows10) で、アプリケーションは Windows 版 PowerPoint2016 です。なお、Mac PowerPoint や Keynote には対応しておりません。
- 発表に使用する PC は全て XGA (1024 × 768) に統一されていますので、ご使用の PC の解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。
- 動画について (データ受付の場合)
動画は Windows Media Player で再生可能なものに限定いたします。特殊な動画コーディングをご使用にならないようご注意ください。使用動画データも一緒に保存してください。バックアップおよびトラブル対策のため、PC 本体もお持ちください。
- 文字化けを防ぐため、フォントは標準のものをご使用ください。
※標準フォント (MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman) 以外のフォントは正確に表示できない場合があります。
- 動画や音声を使用する場合には、必ず当日 PC 受付で申し出てください。
- USB メモリはウイルスチェックを済ませてからご持参ください。
- 提出いただいた発表用データは学術集会終了後、事務局にて責任をもって削除いたします。破損等を想定してバックアップデータを保存した USB メモリを持参いただくことをお勧めいたします。なお、PC 受付後のデータ修正はできません。

3. 日本家族看護学会第26回学術集会長賞

一般演題 口演1題、示説1題を選考します。選考された発表者の方には後日、ご連絡いたします。

会場案内



1日目 2019年9月14日土

	第1会場 1F テルサホール	第2会場 2F セミナー室	第3会場 2F 視聴覚研修室	第4会場 2F 中会議室	第5会場 3F D 会議室	第6会場 3F 大会議室	1F テルサ ホール前
9:00	9:00～ 受付						
10:00	10:00～10:30 会長講演 心をつなぐ 演者：河原 宣子					10:00 ～ 11:00 ポスター 掲示	
11:00	10:40～11:40 特別講演Ⅰ 看護の レジェンド・ ウーマンたち 演者：松浦 京子 座長：河原 宣子		10:40～11:40 口 演 1 子どもと家族を ささえる (1) 座長：二宮 啓子	10:40～11:40 交流集会1 「災害後における 家族レジリエンス を促す看護支援 モデル－メンタル ヘルス版－」を活 用してみましょう	10:40～11:40 交流集会4 障害児のきょうだ いへの支援 －知見の統合をは かり、具体的方略 を探る－	11:00 ～ 15:00 ポ ス タ ー 示 説 ※各委員会活動報告、学生・卒業生発表を含む	11:00 ～ 12:30 よろ ず 相 談 家族支援専門 看護師による
12:00	12:00～12:50 昼食会場	12:00～12:50 ランチョンセミナー1 地域をつなぐ 求められる在宅 看護のあり方 共催：株式会社京都科学	12:00～12:50 ランチョンセミナー2 触れる力～ ビュー ティタッチセラピー による心と体のケア 共催：日本介護美容 セラピスト協会	12:00～12:50 ランチョンセミナー3 健康づくりは靴選 びから：産学共同 研究による健康支 援シューズの開発 共催：アシックス商事(株)			
13:00	13:00～13:30 想いをつなぐー前原 澄子博士メモリアル						
14:00	13:30～14:40 総 会						
15:00	14:40～14:50 研究奨励賞表彰式						
15:00	15:00～17:00 シンポジウムⅠ 事例研究 現場発！ 家族看護学の 実践知 演者：泊 祐子 藤原 真弓 鈴木 征吾 吉田 滋子 座長：山本 則子 野口 麻衣子	15:00～17:00 京都科学 シミュレーション 体験会	15:00～16:00 口 演 2 子どもと家族を ささえる (2) 座長：森山 美知子	14:50～15:50 交流集会2 子どもを亡くした 家族へのグリー フケアについて 考える VOL.2	14:50～15:50 交流集会5 ロールプレイで学 ぶ 家族ケア－透析を辞 めたいと訴える慢性 腎不全の母親と意見 の異なる娘たちとの 家族カンファレンス－	15:00 ～ 16:00 自由討 論	15:00 ～ 16:00 よろ ず 相 談
16:00			16:00～17:00 口 演 3 子どもと家族を ささえる (3) 座長：益守 かづき	16:00～17:00 交流集会3 4種類の連携か ら考えるケース スタディ研修の企 画・運営方法 ※先着 30 名	16:00～17:00 交流集会6 「渡辺式」家族アセ スメント/支援モデ ル その10－これま での10年、これか らの10年：「渡辺 式」家族看護見え る化シートの解説	16:00 ～ 17:00 ポ ス タ ー 撤 去	
17:00	16:00～ プレオープン 17:00～18:00 ハッピーアワー！ One Coin 心会 場所：1F テルサホール前						
18:00							

2日目 2019年9月15日

	第1会場 1F テルサホール	第2会場 2F セミナー室	第3会場 2F 視聴覚研修室	第4会場 2F 中会議室	第5会場 3F D 会議室	第6会場 3F 大会議室	1F テルサ ホール前
8:30~	受付						
9:00	9:00~10:00 教育講演Ⅱ 高齢者虐待防止の ための家族支援: 安心づくり安全探し アプローチ(AAA) 演者:長沼 葉月 副田 あけみ 座長:深堀 浩樹	9:00~10:00 教育講演Ⅰ 防災がつなぐ 家庭-地域- 教育-行政 演者:川口 淳 座長:荒木 暁子	9:00~10:00 口演4 親になる人と 家族をささえる 座長:堀 妙子	9:00~10:00 口演5 家族のエンド・ オブ・ライフケア をささえる(1) 座長:長戸 和子	9:00~10:00 口演6 家族看護におけ る教育を考える 座長:塩飽 仁	9:00 ~ 10:00 ポ ス タ ー 掲 示	
10:00	10:10~11:10 特別講演Ⅱ 障害を価値へと 変えた日-未来 はいつでもこの手 の中に 演者:畠山 織恵 畠山 亮夏 座長:奈良岡 美保	10:30~11:40 教育促進委員会 企画セミナー 家族看護学研 究のレベル別教 育プログラムの 提案	10:00~11:00 口演7 家族看護学に おける研究 座長:上別府 圭子	10:00~11:00 口演8 慢性疾患を抱え る人の家族をさ さえる 座長:柳原 清子	10:30~11:30 交流集会9 ジェノグラムとエ コマップは古い? 家族環境地図 (FEM)を使い こなそう!	10:00 ~ 15:00 ポ ス タ ー 示 説	10:00 ~ 15:00 家族支援専門看護師による よろず相談
11:00							
12:00	12:00~12:50 昼食会場	12:00~12:50 ランチョンセミナー4 送電線の電磁 波って危ないの? -WHOの見解 を紹介します- 共催:電気安全環境研究所	12:00~12:50 昼食会場	12:00~12:50 昼食会場			
13:00	13:00~15:30 シンポジウムⅡ 26 th -27 th -28 th 学術集会がつなが る-リレーシンポジ ウム- 家族看護モデルを 活用した実践例!! 演者:藤井 淳子 栗田 智美 中村 由美子 座長:法橋 尚宏 浅野 みどり 指定発言: 山本 則子	13:00~14:10 編集委員会 企画セミナー 学会発表から論 文に投稿しよう!	13:00~14:00 口演9 家族のエンド・ オブ・ライフケア をささえる(2) 座長:中野 綾美	13:00~14:00 交流集会7 家族支援専門看護師 が行う看護活動(高度 実践)の特性を明らか にする-小児がん事 例を用いたジェネリス トとスペシャリストの 看護介入からの検討-	13:00~14:00 交流集会10 機能不全家族の 問題と回復に向 けた介入方法 -児童虐待に焦点 を当てて-		
14:00							
15:00		14:20~15:10 口演10 高齢者と家族を ささえる 座長:原 礼子	14:20~15:20 口演11 急激に健康破 綻した人のいる 家族をささえる 座長:瓜生 浩子	14:20~15:20 交流集会8 脆弱な家族! -どこから手をつ ければいいの?- ※先着50名	14:20~15:20 交流集会11 「家族看護エンパ ワメントガイドライ ン」の臨床への活 用-家族と地域をつ なぐ入院から退 院期にある家族を 支える看護-	15:00 ~ 16:00 自 由 討 論	
16:00					16:00~16:30 ポスター撤去		

Blank lined area for writing.

1日目 9月14日(土)

会長講演

10:00～10:30

第1会場(テルサホール)

心をつなぐ

河原 宣子(学術集会長/京都橘大学 看護学部)

特別講演 I

10:40～11:40

第1会場(テルサホール)

座長: 河原 宣子(学術集会長/京都橘大学)

看護のレジェンド・ウーマンたち

ープライマリケアの先駆、19世紀イギリスにおける 訪問看護の世界ー

松浦 京子(京都橘大学 文学部)

想いをつなぐー 前原澄子博士メモリアル

13:00～13:30

第1会場(テルサホール)

司会: 堀 妙子(京都橘大学)

語り: 鈴木 和子(日本家族看護学会 元理事長)

石垣 和子(日本家族看護学会 元理事長)

心をつなぐ

河原 宣子

学術集会長／京都橘大学 看護学部 教授

自分自身の家族看護研究は、高齢・過疎化が進む地域にある訪問看護ステーションとの出会いから始まりました。

地方自治体に勤務していた頃の上司（経済学者兼公務員！）が語った「看護学というのは人間と人間の関係性が主軸の学問なんやな。…ある一つの地域に暮らす人々だけに焦点をあててずっと継続して研究することにも意義があるのとかうか」という言葉がずっと耳に残っています。

気が付けば、もう20年近く、同じ地域で同じ仲間たちと共に活動をしています。

交通アクセスが悪く、自然災害も多い地域。しかし、海と山に囲まれた風光明媚で、世界遺産にも登録されている歴史ある地域。そんな場所で、訪問看護活動に関わり、たくさんの家族の物語に触れてきました。

「解きほぐしながらつなげる」

「社会とつなぐ」

「生きる希望をつなぐ」

「多様なつながりへしなやかに対応する」

…といった様々な視点の元、訪問看護師たちと頭を突き合わせながら考え、日々活動しています。笑いあり涙あり、葛藤も感動もあります。

そして、いつからか、そんな家族の方々と訪問看護師たちの織り成す物語をカタチにして社会へとつなぐことが、自分の役割であると確信し始め、現在に至っています。

本日は、これまでずっといっしょに歩んできた ある家族と訪問看護師たちの看護実践について皆様にご紹介いたします。もし、このご家族とこの訪問看護師たちに出会わなければ、今、この場所に私は立っていなかったであろうと思います。

これからも、家族と看護の物語をつないで、さらに新たな物語を創りだせるように精進していきたいと思っています。

河原宣子（千葉大学看護学部卒業・三重大学大学院生物資源学研究科博士前期課程修了）の
日本家族看護学会での活動歴

2000年～幹事に始まり、広報・渉外委員会、国際交流委員会、学術・政策委員会の委員を経験後、
2012年から理事・評議員となった。広報委員会や総務委員会（会計）、将来構想委員会、
社会活動・政策委員会、編集委員会の活動を行ってきた。

一般演題

口 演

9月14日(土)

- 第3会場 10:40～11:40 **口演1群【O-01～O-05】**
子どもと家族をささえる(1)
- 第3会場 15:00～16:00 **口演2群【O-06～O-10】**
子どもと家族をささえる(2)
- 第3会場 16:00～17:00 **口演3群【O-11～O-15】**
子どもと家族をささえる(3)

9月15日(日)

- 第3会場 9:00～10:00 **口演4群【O-16～O-20】**
親になる人と家族をささえる
- 第4会場 9:00～10:00 **口演5群【O-21～O-25】**
家族のエンドオブライフケアをささえる(1)
- 第5会場 9:00～10:00 **口演6群【O-26～O-30】**
家族看護における教育を考える
- 第3会場 10:00～11:00 **口演7群【O-31～O-35】**
家族看護学における研究
- 第4会場 10:00～11:00 **口演8群【O-36～O-40】**
慢性疾患を抱える人の家族をささえる
- 第3会場 13:00～14:00 **口演9群【O-41～O-45】**
家族のエンドオブライフケアをささえる(2)
- 第2会場 14:20～15:10 **口演10群【O-46～O-49】**
高齢者と家族をささえる
- 第3会場 14:20～15:20 **口演11群【O-50～O-54】**
急激に健康破綻をした人のいる家族をささえる

プログラム(一般演題・口演)

1日目 9月14日(土)

10:40～11:40 口演1

第3会場(視聴覚研修室)

子どもと家族をささえる(1)

座長: 二宮 啓子(神戸市看護大学)

O-01 小児慢性疾患患者における成人移行期支援外来の効果 —親子関係の変化に着目して—

○森崎 真由美¹⁾²⁾、鈴木 征吾¹⁾⁵⁾、小林 明日香¹⁾²⁾、関口 ひろみ³⁾、平田 陽一郎⁴⁾、
佐藤 敦志⁴⁾、キタ 幸子¹⁾²⁾、佐藤 伊織¹⁾²⁾、上別府 圭子¹⁾²⁾

- 1) 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野、
2) 東京大学大学院医学研究科附属グローバルナースリサーチセンター、
3) 東京大学医学部附属病院 看護部、4) 東京大学医学部附属病院 小児科、
5) 東京医科大学 医学部看護学科

O-02 呼吸管理を必要とする重症心身障害児の症状マネジメントに取り組む母親の体験

○明神 優¹⁾、中野 綾美²⁾、高谷 恭子²⁾

- 1) 高知医療センター、2) 高知県立大学 看護学部

O-03 気管切開管理を必要とする子どもが「いえに帰る」までの家族の思いの推移

○矢吹 恵¹⁾、小川 純子²⁾

- 1) 東京女子医科大学 八千代医療センター 小児科、2) 淑徳大学大学院 看護学研究科

O-04 医療的ケア児を迎える家族の在宅への移行の見極めに至る看護師の臨床判断

○上村 奈緒子¹⁾、瓜生 浩子²⁾、長戸 和子²⁾

- 1) 岡山大学病院、2) 高知県立大学 看護学部

O-05 NICUにおける家族アセスメントの実践と必要性の認識

○玉田 綾子¹⁾、服部 淳子²⁾、柴 邦代²⁾

- 1) 名古屋第一赤十字病院、2) 愛知県立大学

15:00～16:00 口演2

第3会場(視聴覚研修室)

子どもと家族をささえる(2)

座長: 森山 美知子(広島大学)

O-06 家族機能と子どもの体型に関する研究 —A市にある私立進学校の調査結果について—

○大脇 万起子¹⁾、中村 由美子²⁾、宗村 弥生³⁾、田久保 由美子⁴⁾、江藤 千里²⁾、
鹿原 幸恵²⁾

- 1) 滋賀県立大学 人間看護学部 人間看護学科、2) 文京学院大学 保健医療技術学部 看護学科、
3) 山梨県立大学 看護学部、4) 東京医療保健大学 千葉看護学部

O-07 交通外傷で救急搬送された患児の母親の気持ちに着目した関わり

○市村 寛子、柳沢 弘美、今井 美佳

JA 長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 救命救急病棟

O-08 先天性心疾患の子どものきょうだいの経験
—経験を自己の成長に繋げた A 氏のライフストーリーの語りから—

○柿崎 靖子¹⁾、藤岡 寛²⁾

1) 茨城県立こども病院、2) 茨城県立医療大学 保健医療学部 看護学科

O-09 胎児異常診断家族支援システムの導入とその有効性の検討

○布俣 亜弥、長柄 美保子

岐阜県総合医療センター

O-10 施設入所中の重症心身障害者と地域で生活する家族とのお別れ場面への施設対応

○大城戸 江里

社会福祉法人 志友会 くまもと江津湖療育医療センター

16:00～17:00 **口演3**

第3会場 (視聴覚研修室)

子どもと家族をささえる(3)

座長: 益守 かつき (久留米大学)

O-11 在宅療養をしている重症心身障害児の家族機能の特徴と母親の QOL

○後藤田 綾子

宮崎大学 医学部看護学科 小児看護学

O-12 自傷行為を繰り返す児と母への支援
～母児関係修復に必要なだったこと～

○波多 真美子、石倉 美子、宮里 佐恵美、山本 美由紀、森岡 友里

市立ひらかた病院

O-13 医療的ケアのある児のきょうだい支援に対する訪問看護師の重要性の認識 第一報
—直接的支援の重要性の認識—

○高木 歩実¹⁾、杉浦 太一²⁾、田中 千代³⁾

1) 岐阜聖徳学園大学 看護学部 小児看護学、2) 名古屋女子大学 健康科学部看護学科 小児看護学、

3) 岐阜大学 医学部看護学科 小児看護学

O-14 医療的ケアのある児のきょうだい支援の重要性に対する訪問看護師の認識 第二報
—間接的支援の重要性の認識—

○高木 歩実¹⁾、杉浦 太一²⁾、田中 千代³⁾

1) 岐阜聖徳学園大学 看護学部 小児看護学、2) 名古屋女子大学 健康科学部看護学科 小児看護学、

3) 岐阜大学 医学部看護学科 小児看護学

O-15 先天性心疾患手術を受けた新生児の父親と母親が抱く思い
～ PICU での家族支援の充実に向けて～

○藤本 かん奈、野村 清文、吉岡 良恵、蔵ヶ崎 恵美

福岡市立こども病院 看護部 PICU

9:00～10:00 口演4

第3会場(視聴覚研修室)

親になる人と家族をささえる

座長:堀 妙子(京都橘大学)

O-16 幼児期の子どもを養育する夫婦の coparenting

○徳岡 麻由¹⁾、長戸 和子²⁾、瓜生 浩子²⁾

1)高知県厚生農業協同組合連合会 JA 高知病院、2)高知県立大学 看護学部

O-17 出産家族における家族の発達課題に対する父親の取り組み

○阿川 勇太¹⁾、中山 美由紀²⁾

1)兵庫医療大学 看護学部 公衆衛生看護学領域、2)大阪府立大学 地域保健学域 看護学類

O-18 つわりで入院した妻に対して夫が抱く思い

○柴田 佳奈

国家公務員共済組合連合会 東北公済病院

O-19 構造方程式モデリング手法を用いた育児不安モデルの検討

○中村 由美子¹⁾、大脇 万紀子²⁾

1)文京学院大学 保健医療技術学部 看護学科、2)滋賀県立大学 人間看護学部

O-20 産科に勤める看護職員が認識する「外国人妊産婦のパートナーの重要性」：全国調査

○松永 百恵¹⁾²⁾、上別府 圭子¹⁾、佐藤 伊織¹⁾、キタ 幸子¹⁾、大城 怜¹⁾

1)東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野、2)文京区役所

9:00～10:00 口演5

第4会場(中会議室)

家族のエンド・オブ・ライフケアをささえる(1)

座長:長戸 和子(高知県立大学)

**O-21 子どもを亡くした家族と子どもとの関係性
～視覚イメージで語る現在、過去、未来～**

○濱田 裕子、藤田 紋佳、森口 晴美

九州大学医学研究院 保健学部門

**O-22 進行性の遺伝疾患の児の最期の時間をチームで考える
～デュシャンヌ型筋ジストロフィーの1例を通して～**

○宮田 郁¹⁾²⁾、赤松 志麻¹⁾、川上 和美¹⁾

1)大阪医科大学附属病院 看護部、2)信州大学大学院医理工学研究科 博士課程

**O-23 救命困難と告げられたこどもの End-of-life ケアにおける
家族の意思決定支援での関わり**

○田村 恵美¹⁾、高谷 恭子²⁾、中野 綾美²⁾

1)埼玉県立小児医療センター、2)高知県立大学

O-24 デスケースカンファレンスで明らかになったホスピスケア病棟看護師の役割

○加藤 真由美¹⁾、川畑 恵²⁾

1)勤医協中央病院 看護部、2)勤医協中央病院 緩和ケア科

**O-25 救命救急センター ICU 看護師によるエンゼルケアと家族への関わりの現状
— 質の高いケアへの検討に向けて —**

○安本 雅代

SUBARU 健康組合太田記念病院 ICU/CCU

9:00～10:00 **口演6**

第5会場 (D 会議室)

家族看護における教育を考える

座長：塩飽 仁 (東北大学大学院)

O-26 救急外来看護師への家族看護のレディネスを高める教育介入

○小野 美雪

社会医療法人 誠光会 草津総合病院

**O-27 看護師の家族看護学コンピテンシー内容の分析
— 「渡辺式」家族看護研究会の参加者からの調査 —**

○松本 修一¹⁾、澤田 紀子²⁾、柳原 清子⁴⁾、櫻井 大輔³⁾、木村 藍子⁵⁾

1) 滋賀県立総合病院 HCU 病棟、2) 東京医科大学病院 集中治療室、3) 東海大学 看護学科、
4) 金沢大学 保健学系、5) 東海大学医学部付属病院

**O-28 NICU 看護師への家族支援専門看護師によるコンサルテーション
～家族員誕生で退行現象を示す思春期姉の事例～**

○伊内 さゆり、三枝 真理、園川 雄二、小泉 織絵

東海大学医学部付属病院

**O-29 看護学生がとらえた配偶者介護
— 介護当事者による語りを聴講した学生のレポートから —**

○根岸 茂登美¹⁾、加城 貴美子²⁾

1) 茅ヶ崎看護専門学校、2) 名古屋医専 看護学科

**O-30 訪問看護ステーション実習時における終末期の家族へのケアに関する
指導内容および学習成果の現状**

○川野 英子

新潟県立看護大学 看護学部 地域看護学

10:00～11:00 **口演7**

第3会場 (視聴覚研修室)

家族看護学における研究

座長：上別府 圭子 (東京大学大学院)

**O-31 特定機能病院で働く家族支援専門看護師の活動内容
～フォーカスグループ・インタビューを用いて～**

○櫻井 大輔¹⁾、三枝 真理²⁾、園川 雄二²⁾、小泉 織絵²⁾、伊内 さゆり²⁾、井上 玲子¹⁾

1) 東海大学 医学部看護学科、2) 東海大学医学部付属病院

**O-32 「渡辺式」家族看護事例分析からの「ことば化」の試み
— 相互作用パターン分類を通して —**

○垣見 留美子¹⁾、櫻井 大輔²⁾、柳原 清子³⁾、松本 修一⁴⁾、藤村 望⁵⁾

1) 長浜赤十字病院、2) 東海大学 看護学科、3) 金沢大学 保健学系、4) 滋賀県立総合病院、
5) 船橋医療センター

O-33 重度の疾病を抱えた児と家族の暮らし

○岩戸 さゆき

大阪保健福祉専門学校 看護学科

O-34 障がい児を養育する親の自己効力感を高める要因

○原田 和美

群馬パース大学福祉専門学校

O-35 日本の保健医療福祉領域における外国人家族の体験とその支援に関する現状と課題

○中口 尚始、高谷 知史、西村 直子

大手前大学 国際看護学部 小児看護学

10:00～11:00 **口演8**

第4会場(中会議室)

慢性疾患を抱える人の家族をささえる

座長：柳原 清子(金沢大学)

O-36 濃密な医療的ケアを必要とする児とともに生きる家族への看護介入を振り返る

○中武 麻美、伊藤 一美、加藤 明美

愛知県医療療育総合センター 中央病院

O-37 慢性心不全患者とともに生きる家族の体験

○山口 望¹⁾、中山 美由紀²⁾

1)市立豊中病院、2)大阪府立大学大学院 看護学研究科

O-38 就労している成人期小児がん経験者における家族機能と職務パフォーマンスの関連

○副島 亮史¹⁾²⁾、佐藤 伊織¹⁾²⁾、上別府 圭子¹⁾²⁾

1)東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻家族看護学分野、
2)東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースリサーチ センター
看護システム開発部門 ヘルススクオリティ・アウトカムリサーチ分野

O-39 糖尿病高齢者の在宅療養を支える訪問看護師の家族支援

○城塚 映里子¹⁾、森下 利子²⁾、原 礼子²⁾

1)田淵医院、2)関西福祉大学大学院 看護学研究科

O-40 演題取下げ

13:00～14:00 **口演9**

第3会場(視聴覚研修室)

家族のエンド・オブ・ライフケアをささえる(2)

座長：中野 綾美(高知県立大学)

O-41 終末期がん患者の家族支援

～疎遠であった家族が患者のケアに参加する効果の分析～

○山田 由香理

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

O-42 終末期がん患者の親をもつ壮年期の子どもが家族の中で果たす役割

○仁科 有紀子¹⁾、長戸 和子²⁾、瓜生 浩子²⁾

1)救世軍ブース記念病院、2)高知県立大学 看護学部

**O-43 在宅療養を意思決定した患者・家族の揺れ動く心理
～退院支援看護師の関わり～**

○佐藤 温葉

旭川医科大学病院 地域医療連携室

O-44 集中治療室における終末期の家族ケアへの看護師の困難と実践

○飯沼 歩実、飯田 愛生

旭川医科大学病院 看護部 集中治療室ナースステーション

**O-45 在宅重症心身障害者に対する代理意思決定に関連する課題
～急変時同意書に対し代理意思決定する親の思い～**

○井上 久子¹⁾²⁾、若林 輝美¹⁾²⁾、最上 由紀子¹⁾²⁾

1)東京都立北療育医療センター、2)前東京都立北療育医療センター

14:20～15:10 **口演10**

第2会場(セミナー室)

高齢者と家族をささえる

座長: 原 礼子(関西福祉大学)

O-46 経口がん薬物療法を継続する高齢がん患者を支える家族の認識と支援

○平野 千穂¹⁾、山手 美和²⁾

1)福島県立医科大学 会津医療センター附属病院、2)福島県立医科大学 看護学部

O-47 成人期の子どもの高齢の親の死の受容する過程とその困難さ

○御手洗 みどり

北九州市立大学社会システム研究科 地域社会システム専攻 博士後期課程

O-48 倫理カンファレンスにおける家族支援専門看護師の実践

○藤井 真樹、柏熊 留里子、宮川 恵子

学校法人聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院

O-49 家族も看護の対象 ～家族アセスメント項目を活用して～

○村山 彩矢佳

京都民医連あすかい病院

14:20～15:20 **口演11**

第3会場(視聴覚研修室)

急激に健康破綻した人のいる家族をささえる

座長: 瓜生 浩子(高知県立大学)

**O-50 脳血管疾患でICUに滞在した患者家族のPTSD関連症状
～改訂出来事インパクト尺度日本語版(IES-R)を用いて～**

○鈴木 雅智¹⁾、川口 吉光²⁾、伊藤 由美²⁾、井上 玲子³⁾、吉川 隆博³⁾

1)日本医科大学付属病院、2)東海大学医学部付属病院、3)東海大学 医学部 看護学科

O-51 悪性脳腫瘍で初回入院をする患者・家族に関わる看護師のとまどい

○川口 吉光¹⁾、井上 玲子²⁾

1)東海大学医学部付属病院、2)東海大学 医学部 看護学科

O-52 救急外来における家族支援専門看護師の家族看護実践

○加藤 智子
聖隷浜松病院

O-53 救命救急センター初療室における家族アセスメントツールの作成

○中村 剛士¹⁾、服部 淳子²⁾、深田 順子²⁾
1)名古屋第一赤十字病院 看護部 救急初療室、2)愛知県立大学 看護学部

**O-54 急性期病院における認知症者の現状と家族支援の1例
～家族員の心理過程を捉えたアプローチ～**

○尾崎 愛、筒井 京子
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

Blank lined area for writing.

日本家族看護学会第26回学術集会でご尽力いただきました
皆様に深謝申し上げます。

(お名前は敬称略で失礼いたします)

参加者の皆様

ますますのご活躍を祈念いたします。
ご参加いただき、本当にありがとうございました。

ご登壇・ご発表いただいた皆様

家族看護研究の発展につながるご発表、支えてくださった座長の皆様に深謝いたします。

プログラム企画・一般演題査読等

学術集会運営を支えていただいた理事・監事・評議員の皆様

理 事 野嶋佐由美、浅野みどり、荒木暁子、上別府圭子、関根光枝、泊祐子、
長戸和子、中野綾美、中村由美子、法橋尚宏、山口桂子、山本則子

監 事 石垣和子、原礼子

評議員 荒木田美香子、池添志乃、瓜生浩子、門真晶子、式守晴子、塩飽仁、
鈴木和子、津島ひろ江、中込さと子、奈良間美保、二宮啓子、濱田裕子、
深堀浩樹、藤野崇、古瀬みどり、益守かづき、森山美知子

いつも温かく見守ってくださいました。本当にありがとうございます。

当日の学術集会運営を支えていただいた皆様(五十音順)

浅野泰貴、穴吹浩子、石井美由紀、伊藤弘子、稲葉佑苗、岩崎真子、
岩崎由美子、岩田聡子、上野沙織、岡田純子、梶谷佳子、工藤里香、
黒瀧安紀子、小西奈美、坂本佳津子、佐々木和哉、定森千賀、佐野真樹子、
下田優子、征矢野あや子、高田直樹、高濱萌、竹中友希、田邊幹康、常田裕子、
十倉絵美、中川雄太、中橋苗代、長尾匡子、永谷樹理、平井亮、兵藤絵美、
堀妙子、宗由里子、松田武恕、村上久恵、餅田敬司、山本亜衣、渡邊有紀

ご多忙にもかかわらずご協力いただいた皆様へ心から感謝いたします。

京都橘大学看護学部の学生の皆様

本当にありがとう。
これからの看護を担う皆様へ私たちの心をつなぐことができたでしょうか。

協賛いただいた皆様（五十音順）

アシックス商事株式会社	一般財団法人電気安全環境研究所
医療法人同仁会京都九条病院	International Family Nursing Association
株式会社 Uga&Co.	株式会社京都科学
株式会社金芳堂	株式会社クマノミ出版
株式会社日本看護サービス	株式会社VIP グローバル
株式会社メルシー	株式会社神陵文庫
株式会社ヤマト	京都橘大学
東洋羽毛工業株式会社関西販売	日本介護美容セラピスト協会
認定NPO 法人世界の医療団	有限会社宝石のエンジェル
ワタキューセイモア株式会社	

ご支援いただき深謝いたします。

メインテーマ 書

尾西正成

書字の有するチカラが私たちに感動を与えてくださいました。
ますますのご活躍を祈念いたします。

学術集会全体の企画・運営を支えていただいた皆様（五十音順）

賀数勝太、川村晃右、高谷知史、中口尚始、本田順子、松本賢哉、松本修一
言葉では伝えきれないたくさんの感謝の心を込めて。

ホームページ管理・演題登録システム・抄録集等印刷

株式会社セカンド

無理難題な要望に応えてくださいました。皆様に深謝いたします。

企画・運営総括

野島敬祐

語り尽くせぬたくさんの「ありがとう」を送ります。

そして、ご協力いただいたすべてのご家族の皆様
心からの感謝を込めて

日本家族看護学会第26回学術集会

2019年9月4日発行

会 長：河原 宣子

事務局：京都橘大学 看護学部

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

TEL：075-574-4254

E-mail：jarfn26@tachibana-u.ac.jp

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>

定 価：2,000円（税込）

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。無断転写・複写を禁ず。



日本家族看護学会 第27回 学術集会

The 27th Annual Conference of Japanese Association for Research in Family Nursing

演題登録 2020年3月上旬～5月 (予定)
事前登録開始 2020年3月上旬 (予定)

未来を
ひらく

日時

2020年9月12日(土) 13日(日)

学術集会長

浅野 みどり

名古屋大学大学院医学系研究科 教授

会場

ウインクあいち

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

名古屋駅から徒歩5分



<http://www.cs-oto.com/jarfn27/>
(10月公開予定)

お問合せ先

運営事務局: 株式会社オフィス・テイクワン

メールアドレス: jarfn27@cs-oto.com

学術集会事務局: 名古屋大学大学院医学系研究科

日本家族看護学会第27回学術集会事務局

〒461-8673 名古屋市中村区大幸南1-1-20



看護の力で健康な社会を！